

# ROTARY NEWS ロータリーニュース

## 東京府中ロータリークラブ

東京府中ロータリークラブホームページ <http://www.tokyo-fuchu-rc.org/>

発行所  
東京府中  
ロータリークラブ  
広報委員会

東京都府中市緑町3-5-2  
(むさし府中商工会議所会館4階)  
TEL (042) 366-6200  
FAX (042) 369-0010



### 「感謝」

府中市長  
高野 律雄

東京府中ロータリークラブの皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年は新型コロナウイルスによる感染症拡大により、4月に国から緊急事態宣言が発表される等、未曾有の状況が続いております。このことから、

感染拡大抑制、市民の生命及び健康の保護、市民生活と市民経済に及ぼす影響が最小となるよう、貴クラブをはじめとした団体や企業、そして市民の皆様の大なるご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本市では、「みんなで創る笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、一日でも早く安心して暮らせるよう、皆様方のご協力を賜りながら、引き続き、市政運営に努めてまいります。

結びに、東京府中ロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



### 「一年を振り返って」

東京府中ロータリークラブ  
会長 篠原 定

このたびの新型コロナウイルス感染症により亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げると共に、罹患された皆様や影響を受けられている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当クラブには、今年で46年目を迎える予定であった府中市内の小中学生を対象とした作文コンクールと37年目を迎える教育功労者顕彰があります。この二つの事業は当クラブにとって最も重要な事業です。

特に教育現場で優れた功績があった先生方を顕彰する教育功労者顕彰では、今年5名の優れた先生を顕彰させていただきました。

昭和57年3月27日創立20周年を機に、当時の会員から寄付金等を募り1100万円をみずほ信託銀行に公益信託し、毎年会員からの寄付とあわせて教育功労者顕彰事業の資金として37年間使用してきましたが、今年をもって公益信託事業を終了する事となりました。東京府中ロータリークラブにとって節目の年に顕彰を受けられた5名の先生方に心からお祝いを申し上げます。

そのかわりとして、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大で医療崩壊の危機に直面し、十分な医療用マスクがない中、懸命に新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎ、市民の皆さんのために医療の最前線で昼夜を問わず働く医療従事者のお役に立てるよう、府中市にある多摩総合医療センターとがん検診センターへ医療従事者用のマスクを寄贈し、感謝の言葉をいただきました。寄贈時に医療現場の緊迫した状況のお話しをお聞きし、改めて新型コロナウイルスによる医療現場の厳しさを知ることができ、会員の貴重な寄付が地域医療のお役に立てることができたことを誇りに感じ、ロータリークラブの素晴らしさを実感することができました。

1日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、今までどおりの日常生活が戻るよう心よりお祈り申し上げます。地域のために我々と一緒に奉仕活動をしていただける方を歓迎します。これからも東京府中ロータリークラブを宜しくお願いたします。

## 本年度の活動の



世界中で日々新型コロナウイルス感染症の被害が拡大している中、拡大を抑えるために昼夜を問わず働き続けている医療従事者の方々が安心して働ける環境に少しでも役に立つ奉仕を行いたいと考え、現在、医療機関で不足し、最も深刻な状況にあるマスクを、東京都医療経営本部を通じて都立多摩総合医療センターと都立がん検診センターへ計一〇〇〇〇枚寄贈いたしました。



東京都立がん検診センターへ寄贈



東京都医療経営本部へ目録贈呈 2020年4月27日(月)

東京府中ロータリークラブは一九九二年より毎年継続して府中消防少年団への活動支援を行っています。支援金は例年、キャンプ用品やロープ等の備品購入の一部に充てられており、本年度は指導者・高校生準指導者用キャップの購入に充てられました。



東京府中ロータリークラブ、明星学苑インターアクトクラブと合同で年末に大國魂神社境内の落ち葉清掃を行いました。



「2018-19年度 ロータリー賞 (会長特別賞: プラチナ)」を受賞しました。この賞は、国際ロータリーの挙げる活動項目の達成に加え、更に指定された三項目を達成したクラブに送られる賞です。(昨年度の賞になりますが、表彰式は今年度11月に行われました。)

東京府中ロータリークラブは二〇一八二〇一九年度国際ロータリーのロータリー会長特別賞の最高賞である「プラチナ

# 教育功労者顕彰事業

## 小学校の部



**高橋 真澄**  
主任教諭  
府中第一小学校 23年  
教職歴 14年  
市内在職

主任教諭として、市内の理科教育振興に尽力してきました。

府中市立小中学校教育研究会の小学校理科部の庶務担当副部長として運営に長年携わり研究活動の活性化を図っています。理科教育の課題や教員のニーズを確実にとらえ、プログラミング教育の研修や科学クラブで使える実験など、興味をもつような企画を行ってきました。そのような取組をすることで、当初少なかった部員数が徐々に改善され、今年度は常に多数の教員が参加しているまでになりました。

また、年間2回だった研究授業も、昨年度からは年間3回の研究授業をするようになってきており、府中市内の理科教育の振興に大きく貢献しました。

さらに、特別支援教育の推進においても校内で活躍をしています。特別支援学級で指導していた経験を生かし、それぞれの児童の特性を理解し個別の支援に取り組みんでいます。特に、経験の浅い若手教員に具体的な対応の仕方を助言することで、児童の困り感を改善する指導ができるようになり、校内の特別支援教育の推進において顕著な成果をあげています。



**田邊 洋一**  
主幹教諭  
府中第二小学校 11年  
教職歴 26年  
市内在職

教務主幹教諭として、児童数が千百人を超える大規模校において、校長の学校経営方針を的確に理解し、学校の課題を適切に捉えて教育計画の作成・管理

をしてきました。重点課題であった教室改修や新校舎増築の工事に関わる調整や周年行事の円滑な実施、および府中市教育委員会研究協力校としての研究発表会開催では、各分掌の主任への助言、指導をするなど、積極的に活動し、適切に実施することができました。

また、日々の教育活動では、組織を生かした活動ができるよう各分掌の主任に働きかけをしていることで、分掌の取り組みが活性化しました。本主幹教諭は、大規模校における安定した学校運営や児童の落ち着いた学校生活の実現に大いに貢献してきました。

学習指導では、「主体的、対話的で深い学び」を目指して授業改善に取り組み、日々の授業を展開しています。特に体育を専門とし、研究・研鑽に励み、若手教員を始め、学校全体の教員への指導・助言をするなど、体育授業の改善と体力向上にも顕著な成果をあげています。さらに、府中市小中学校教育研究会体育部会では、庶務担当副部長として部会の中心となって研究をすすめるなど、府中市の体育科教育の充実・発展に尽力している功績は顕著です。



**山村 淑江**  
主任教諭  
府中第五小学校 29年9ヶ月  
教職歴 21年9ヶ月  
市内在職

特別支援学級の担任として、一人一人の児童の障害の程度を的確に把握して、その子のニーズに合った適切な支援を実施しています。そのことにより、児童の自立する力を育ててきました。特別支援学級の主任としては、きめ細かい教育計画を作成することにより、教育実践に大きく貢献しています。自分の担当する児童だけでなく、在籍するすべての児童の適切な支



**松本 泰治**  
主幹教諭  
小柳小学校 20年7年  
教職歴 7年  
市内在職

援のために、生活指導・進路指導・保健指導等において、取りまとめにあたっています。それにより、他の教員に良い影響を与えて、特別支援学級全ての児童の健康増進においてより効果が見られました。今年度の特別支援学級担当教員が6名中4名経験3年以下となる中、特別支援学級のリーダーとして、若手教員の指導力向上のための育成にあたっています。その結果として、所属の若手教員の力量向上が実現しています。

また、通常学級の担任や養護教諭、スクールカウンセラー、校外の関係諸機関との連携を適切に図っており、効果的な情報提供と支援を行うことができて、保護者の信頼を得ています。現在、学校を支えるかけがえのない教員として学校経営に大きく貢献しています。

「学校生活のきまり」を見直し、自ら児童への指導を熱心に行いました。そのことにより、児童の学習規律が向上し、地域の方へ積極的に挨拶ができるようになるなどして、保護者・地域から高い評価を得ています。

主幹教諭として学校運営全般にわたり、管理職を全面的に補佐し顕著な成果を上げています。

## 中学校の部



**尾辻 茂樹**  
主任教諭  
府中第三中学校 34年9年  
教職歴 9年  
市内在職

主任教諭として数学科指導において、少人数習熟別の指導に継続的に取り組んでいます。全学年基礎クラスを担当し、基礎・基本の徹底のみならず、主体的・対話的な活動を積極的に取り入れ、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図る工夫をしました。そのことにより、生徒の学力向上に高い成果を挙げています。また、生活指導においては、学年にとどまらず、学校全体の中心として、指導に当たっており、課題の見られる生徒へも粘り強く指導を続けています。登校をしづる生徒へは毎日家庭連絡を欠かさず、生徒一人一人に、的確で、心のこもった指導を行い、全生徒の居場所づくりを努めています。また、教員には率先して範を示し、人材育成にも貢献しています。

さらに、バドミントン部顧問を長く務め、技術向上だけでなく、総合的な人間形成に尽力し、毎年プロック大会・都大会出場の実績を残しています。三地区青少年対主催のバドミントン大会にも毎年協力し、地域との連携においても、中核的役割を果たすなど教育活動の充実・発展における功績は誠に大きいものがあります。

## 教育功労者選考を終えて

選考委員長 藤井 幸夫

今回で三十八回目を迎えた教育功労者顕彰事業は、学習指導・生活指導・授業研究等で顕著な成果を上げた府中市立小中学校の教員等の功績を顕彰することによって、教育の振興を図ることを目的としています。

今までに三百七十七人の先生が顕彰を受けられ、子どもたちの健全育成や学校運営に貢献し、府中市の教育に多大な影響を与えています。今回も教育功労者にふさわしい先生を、小中学校の校長先生よりご推薦いただきました。

推薦された先生方は、いずれも学校の中核として教育活動を支えている方々です。授業研究を通して学習指導の充実にも努め、子どもたち一人一人に寄り添い、情熱をもって健全育成に尽力され、子どもたちの学びと育ちを伸ばす優れた実践を積み重ねている先生方です。さらに、学習指導・生活指導・進路指導・特別活動・特別支援教育・若手教員育成、学校運営への貢献等、広範にわたり活躍し、児童・生徒から慕われ、保護者や地域からも信頼を寄せられている方々です。それだけに大変難しい選考でありましたが、十回の選考委員会を行い、5項目の選考基準と照らし合わせ、慎重かつ丁寧に審議を重ねて、小学校四名、中学校一名を顕彰候補者として推薦いたしました。二月の運営委員会では、教育功労者としての最終決定がなされました。残念ながら三月に行う予定の顕彰式は、コロナ感染拡大防止のため延期、最終的に中止を余儀なくされました。

顕彰された先生方には、ご家族の支えを受けながら、今後も府中市の教育のために尽力され、さらなる活躍を祈念しております。本事業が、教育の振興に大きく寄与されていることに敬意を表すと共に、今後とも継続していただき、今後も継続していただき、選考のご報告といたします。



## 教育振興基金について

公益信託東京府中ロータークラブ  
教育振興基金運営委員会 委員長 榎ヶ埜 俊彦

東京府中ロータークラブは、教育こそが国家の将来を左右するとの認識に基づき、クラブ創立二十周年の記念事業として本基金を創設いたしました。

その趣旨は、市立小中学校において顕著な功績をあげられた先生方を教育功労者として顕彰するというもので、府中市、府中市教育委員会、府中市立小中学校校長会のご協力のもと、三十八年間に三二二名の先生を顕彰してまいりました。

当クラブは、創立当初より青少年育成に主眼をおいた奉仕活動に注力して参りましたが、教育功労者顕彰事業は四十六年目を迎えた作文コンクールと並び継続事業の柱となっています。

時節柄、基金の維持運営が非常に難しくなっています。そこで次年度からは、公益信託ではなくクラブ主催の主事業として運営をしてまいります。教育環境の厳しい中、今後も先生方を励まし、応援を続けてまいります。従前の通りご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 作文コンクールについて

作文コンクールは、一九七四年に「小中学生の諸君に職業及びローターの精神と活動に関するテーマで作文を募集し職業奉仕に関する認識と啓発、且つ一方では次代を担う少年少女の物の考え方、見方をこの中より吸収し大人と子どもの接点を探し、更には職業奉仕、青少年奉仕活動への一端を把握しよう」との観点から行われ、その後府中市長はじめ、教育委員会及び府中市小中学校校長会のご理解とご協力を得まして毎年開催しているものです。

第一回のテーマは「職業及び職業に関連するもの」とし、二一九年の応募がありました。その後、毎年様々なテーマで回を重ねてまいりました。現在では三十五を超える小中学校より一三〇〇〇点以上の作品の応募をいただく大きな事業となりました。

例年ですと、応募いただいた作品は、審査員による二回の審査を経て入賞作品が決定され、六月下旬の表彰式にて入賞作品を表彰しています。優秀作品は表彰会場で受賞者本人に朗読していただいておりますが、文章上も思想的にも、しっかりと来場の皆様の間に、しばし感動感嘆の溜息が洩れるほどです。

また、ローターニュースの紙面でも受賞作品及び入賞者のご紹介をさせていただきます。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により作文コンクールは中止といたしました。次年度は開催を予定しております。

従前の通りご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 国際ロータリーの行っているポリオ根絶活動と新型コロナウイルス対策の支援活動



ポリオ担当チームが新型コロナウイルスへの対応を支援

ポリオ根絶プログラムではこれまで、ポリオウイルスの検査やワクチン配布キャンペーンを通じて大規模なインフラを築いてきました。

**ポリオとは**  
ポリオ(急性灰白髄炎)は、ウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入ると身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。

ロータリーとそのパートナー組織は30年以上にわたり、ポリオを世界から根絶する取り組みを行っています。ロータリー会員は、これまでに19億米ドル以上を寄付し、122カ国、25億人以上の子どもに予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。また、政府への働きかけを通じて各国政府からの80億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担ってきました。2018年に報告された野生型ポリオウイルスによる発症数は33件であり、125カ国で35万件の発症が確認された1988年と比較すると99%以上の減少となっています。野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなりました。

ポリオ根絶活動のために築かれたインフラは、ほかの疾病の治療と予防にも利用されており、今回の新型コロナウイルス(COVID-19)への対応にも活用されています。各国のポリオ根絶担当チームは、感染にさらされやすい人、特にポリオ常在国の人びとを新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しています。

パキスタンやナイジェリアと言った国では、何十年ものポリオ根絶活動の経験が、政府による新型コロナウイルス対策の支援に役立てられています。



## 東京府中ロータリークラブの行っている活動紹介

### 青少年育成、奨学事業

#### 留学生への奨学金支給事業

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する民間奨学団体です。米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。この事業は、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することを目的としています。二〇一九年度奨学生数は八八八名、累計で二万一千二十三名の奨学生を支援してまいりました。東京府中ロータリークラブでは一九七六年より計二十八名の奨学生の支援をしています。

#### 交換留学生受け入れ事業等

ロータリークラブは、日本の高校生を海外に派遣し、また交換として相手国から高校生を受け入れる青少年交換留学生事業を行っています。東京府中ロータリークラブでは、一九七一年より計二五名の高校生を派遣し、海外より計一一名の海外の学生を受け入れています。その他、ロータリー財団奨学生、ロータリー財団世界平和奨学生の支援制度においても、当クラブから四名をアメリカに派遣し、五カ国から六名の来日学生を受け入れてまいりました。

この度のコロナウイルス感染拡大にあたり、二〇〇九一〇年度交換留学生として派遣いたしました庄司愛美さんから当クラブ宛にメッセージをいただきましたのでご紹介いたします。



東京府中ロータリークラブの会員のみなさま、こんにちは。二〇〇九一〇年度にスポンサーをしていただきベルギー王国に交換留学生として派遣していただきまし

た庄司愛美と申します。コロナウイルスの影響で様々な活動が制限される中、ロータリーの例会も休会となりメールと週報のみとお話を伺いしまして、なにか近況報告も兼ねて拙い文章ではありますが、楽しいお話をお届けできたらと思い週報のスペースを割っていただきました。現在私は、フランス共和国に住んでいます。気づいたらこちらで生活を始めて早五年になります。学校に行ったり、飲食店でお仕事したり(一昨年は現天皇陛下にもご来店いただきました)、最近では大学で日本語のクラスを持つようにもなりました。ご存じの通り、フランスもコロナウイルスの影響を大きく受けており、今は外出禁止令の下生活しております。その状況下での生活も3週間目、最初は気が滅入るのではないかと思っ

ていましたが、幸い小さなアパートから脱出し、大きな庭のある知人のお宅に居候しながら、三人のお子さんの子守をしているおかげで、太陽にも触れながらのびのびと生活しています。慣れてくれば家の中でも出来ることはたくさんあり、ゆっくり本を読んだり、日本のニュースをみたり、普段ではできないような凝った料理をしてみたり。先日はリクエストを受けて巻き寿司を作りました。近々うどんでも打とうかと思っています。今回は普段生活している街の様子をお届けできたらと思います。複雑な状況でお忙しいかと思いますが、ご愛顧くださいませ。二〇〇九一〇年度 青少年交換派遣学生 庄司愛美(ベルギー王国派遣)

#### ロータリーアクトクラブ・インターアクトクラブとの協働事業

東京府中ロータリーアクトクラブ、明星学苑インターアクトクラブと合同で毎年年末に大國魂神社境内の落ち葉清掃をしています。東京府中ロータリーアクトクラブは、一八〜三十歳までの学生

から経営者まで多彩な会員が集っている団体です。個々の能力開発や役立つ知識、技能を高めるため、地域社会に貢献する奉仕活動や様々な活動を自主的に企画し取り組んでいます。活動に興味をお持ちの方は東京府中ロータリークラブ事務局(〇四二一三六六二〇〇)にご連絡ください。

インターアクトクラブとは地域社会や学校を基盤とする、二〜一八歳の中学・高校生の奉仕クラブです。ボランティアやその他の活動への参加を通じて社会について学び、リーダーシップを養っています。府中では明星学苑内に明星学苑インターアクトクラブがあります。

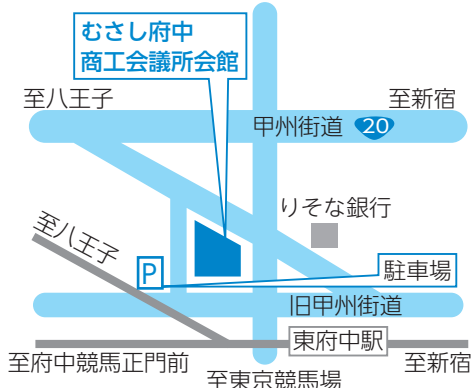
#### その他

東京府中ロータリークラブの会員は、府中での活動の他、近隣地域、地区、国際的な活動を支援しています。その方法は、直接的なもの、間接なもの、それぞれありますが、会員の会費は様々な形で奉仕活動に充てられています。前出のポリオ根絶活動や次代を担う人材の育成など、単独のクラブでは行えない規模・広範囲・長期にわたる活動は会員一人一人に支えられているのです。

#### 例会

東京府中ロータリークラブでは概ね毎週水曜日の十二時三十分より十三時三十分の一時間、むさし府中商工会議所会館三階大ホールにて例会を開催しています。例会は各種連絡事項の伝達と様々なテーマの卓話という二部形式で、連絡事項の間に昼食をとるスタイルで行われています。入会をご検討される方の例会見学についてはロータリー事務局(〇四二一三六六二〇〇)にお問い合わせください。

#### ●例会会場案内図●



### 過去の活動



1992年 けやき並木大塚跡地 八幡太郎源義家公之像建立



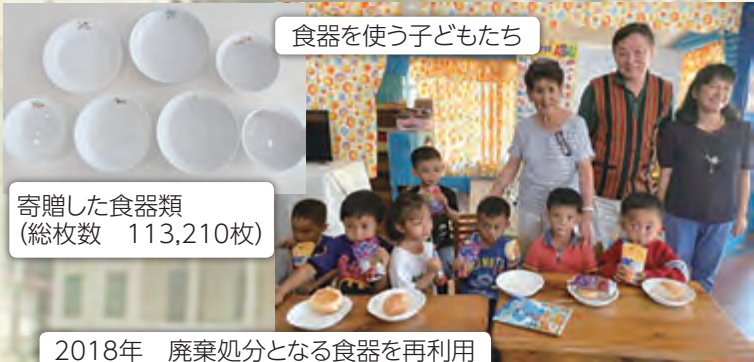
明治100年を記念し大國魂神社 境内に植樹したしだれ桜



2011年 ラオス バンメー小学校を寄贈



2002年 カンボジア テープ・ヴィミアン小学校を寄贈



食器を使う子どもたち

寄贈した食器類 (総枚数 113,210枚)

2018年 廃棄処分となる食器を再利用



年末の大國魂神社清掃活動



昨年で45回目を迎えた「作文コンクール」



毎週の例会で行われる卓話の「こま (写真は会員によるもの)」

## ロータリークラブについて

### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係まで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,907、会員数1,204,996人(2020年1月15日国際ロータリー公式発表)に達しています。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

- ロータリー会員は、課題を「機会」ととらえて行動を起こします。より良い地域社会をつくるために、地元や世界の根強い問題に多角的に取り組んでいます。
- ロータリーは、世界中の異なる国、文化、職業、経験をもつ120万人の会員からなるネットワークです。これらの会員は、それぞれの地域のロータリークラブで活動しています。
- ロータリークラブは、大小さまざまな奉仕活動を通じて、会員仲間や家族、友人、地域社会の人びとや他団体とともに、ビジョンを分かち合い、持続可能な解決策をもたらす方法を考え、行動に移します。

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

## 東京府中ロータリークラブ会員名

2019.7.1 ~ 2020.6.30 会員数 58名

池上敦雄 S.A.A 池代表取締役	小宅肇 副幹事 府中観光交通 代表取締役	森藤郁成 副幹事 モリト不動産 代表取締役	根守克彰 幹事 須田清法律事務所 弁護士 代表取締役	栗林快次 会計 府中支店長 代表取締役	渡利圭太 理事 ワタリ 代表取締役社長	野口英一郎 理事 野口酒店 代表社員	松村一夫 理事 東京マツシマ監査役	榎ヶ埜俊彦 理事 榎ヶ埜商会代表取締役	藤見義彦 理事 武蔵野社労士 フォーラム代表	高橋晴彦 副会長 高橋興産代表取締役	伊藤研二 会長 エレクト コーシン代表取締役	村上保裕 直前会長 代表取締役	篠原定 会長 篠原電気工業 代表取締役	
神山光男 光伸テック(株)取締役顧問	十藏寺新 医療法人社団新愛会 東府中病院名譽院長	井上常正 井上木屋 代表取締役	印部武順 印部木家石材店 取締役会長	池田征士郎 池田テック防水 代表取締役	市川恭秀 市川金庫 代表取締役	平川貴浩 多摩信用金庫 府中支店長	濱中重美 濱中重美代表取締役	古谷正志 古谷不動産 代表取締役	福本眞也 明星中学校・高等学校 校長	福島徹也 セルバンデス 代表取締役	有山隆広 ソニー生命保険新府 ライフプランナーセンター 第1支社第8営業所 エグゼクティブ プランナー部長	秋山敏行 秋山敏行代表取締役	阿部弘之 阿部トープス 代表取締役	
佐藤靖生 佐藤建築事務所 代表取締役	佐藤泉 S.M.C.日興証券 調布支店課長	笹島繁 東日本電信電話 東京武蔵野支店長	坂庭年哉 三義UFJ銀行 府中支店長	大久保秋生 大久保印刷 代表取締役	大木稔 大木組 取締役大御所	小川一廣 学校法人田中育英会 東京エストラール ホテル専門学校校長	中村尚道 公益社団法人 調布市医師会顧問	村野猛 村野商店代表取締役	松山晃 松山会計事務所代表	松村信幸 松村信幸 代表取締役	小松貴之 東京海上自動車火災保険 西東京支店府中支社長	小林伸夫 サンコウ総合設備 代表取締役	桂田州啓 サンリバービル 武蔵野ビル工場長	加藤茂 八洲代表取締役
	湯浅葉子 大和証券(株)府中支店長	吉岡孝明 天神町クリニック院長	吉野幹夫 吉野家の家代表者	渡辺唯史 ソニハツ代表取締役	若松寧 医療法人社団和徳会 若松歯科医院理事長	宇都宮秀仁 日華代表取締役会長	梅原勝彦 梅原精密 取締役相談役	田中昇 タイル代表取締役	高野紘一 府中スポーツ代表者	高橋泰三 京王建設(株)取締役会長	杉本時生 医療法人社団英世会 理事・法人本部長	鈴木淳一 野村證券(株)府中支店長	須藤光忠 三晃代表取締役	下平洋一 J.R.A日本中央競馬会 東京競馬場長

《理事・役員》  
《会員》